

記者発表（配付）資料

平成 23 年 8 月 15 日

所属部課	館長	首席学芸員	統括学芸員	担当	連絡先
萩博物館	湯本 重男	樋口尚樹	清水満幸	堀 成夫	0838-25-6447

件名	萩沖でミンククジラの貴重なジャンプを撮影、萩博物館で公開
----	------------------------------

ミンククジラが海上をジャンプするという珍しいシーンが 8 月 6 日、萩沖で目撃され、連続写真に撮られました。萩博物館で開催中の「伝説のクジラキングを追い！」展の来場者 3 万人突破を記念し、8 月 17 日より同館で特別公開します。

■ 経緯

撮影地：萩市相島から北へ数～十数 km 沖の日本海

撮影日時：平成 23 年 8 月 6 日 12:19 ごろ

撮影者：村上佳代さん(29)(北海道大学観光学高等研究センター・特任助教；

現在、NPO 萩まちじゅう博物館・学術アドバイザーの委嘱をうけ萩で就労中)

経緯：萩から見島へ向かう高速船「おにようず」が相島沖にさしかかったとき、船客が数百メートル離れた海上をジャンプする大きな生物を発見。グループ旅行で同乗していた村上さんが連続写真で撮影に成功。その生物は計 5～6 回ほどジャンプしながら東(須佐方面)へと泳ぎ去りました。後日、その写真を萩博物館で分析したところ、体長 4～5m 程度のミンククジラと判明。

■ ミンククジラのジャンプ(ブリーチング)について

ミンククジラは世界の北半球に広く分布し、萩をふくむ山口県の日本海沿岸ではときどき網に入ったり海岸に漂着することがありますが、元気に活動している姿が目撃されることはほとんどありません。また、このクジラがジャンプするシーンは全国的にも「稀」にしか見られないといわれています。したがって、このたびの写真は萩沖を行き交う野生のミンククジラの生態を知る貴重な資料となります。

(※クジラのジャンプ行動は正式には「ブリーチング」と呼ばれ、なぜそのような行動をするのかははっきりとは分かっていません。)

■ 写真の公開について

萩博物館ではちょうどクジラをテーマとした特別展「伝説のクジラキングを追い！～ピノキオのクジラ探訪記～」(7/2～9/4)を開催中で、8 月 17 日(水)には来場者が 3 万人を突破する見込みとなりました(別途記者発表)。それを記念し、同日から会期末の 9 月 4 日(日)まで、上記の写真をモニター上映します(その後の公開については未定)。



右上写真 2 枚：萩沖の日本海でジャンプするミンククジラ（連続写真から抜粋）